造園・外構・植栽工事オーナーズマニュアル

素材の特徴、特性のご紹介
お手入れ方法
保証について
チェックシート

平成２０年９月 20 日現在

有限会社ガーディナーズ　監修
http://gardeners.jp
本マニュアルは予告なく追加、変更されます

素材に関して

1.コンクリート・モルタル製品

コンクリート製品は、最も使用する事が多く、コスト的にも安価な素材と言えるでしょう。しかし、以下に挙げるような特性がありますのでご理解下さい。

1) ヘアークラック

コンクリート土間などにおいてヘアークラック(細いヒビ)が入る事がよくあります。原因として、コンクリートは硬化時に収縮するという特性を持っており、その時の気候･気温により発生するものと思われます。
無収縮のコンクリートもありますが、コスト高の上、100%抑える事が出来ません。
下地不良、無配筋の為の陥没･破壊などは問題外ですが、ヘアークラック(細いヒビ)は、外構レベルにおいて強度的に問題はありません。同様に接する他の素材との間に収縮によるはく離(小さな隙間等)が発生する事があります。

2) 白華 (エフロレッセンス)

施工後のコンクリート製品やレンガの表面に、白い粉状の物質が付着する事があります。この現象は、コンクリートやモルタルを使用した場合に起こります。これは、セメントに含まれるアルカリ･カルシューム成分が雨などにより染込んだ水と共に表面に移動し結晶化したもので、残念ながら現在、根本的な解決には至っていません。白華は製品上の欠陥ではなく、耐久性を損なうものではありませんが、美観上気になる場合は予防処理、除去処理を行ってください。

3) 汚れ

コンクリート製品やレンガの表面は、多孔質な粗面であるため、泥、ほこり、排気ガス等の汚れが付着しやすいと言えます。

4) 色落ち

長期間使用により、色落ち風化が進む事があります

2. 石材・レンガ

1) 色合い

天然の素材であるため、一つ一つの色合いが違います。種類によってはまったく違うものもあります。

2) 風合い

天然の素材であるため、一つ一つの風合いが違います。種類によってはまったく違うものもあります。

3) 白華・汚れ・色落ち

上記 1 の 2)～3)で記したような症状が出る場合があります。色落ちに関しては、汚れ、風化による場合が多いと考えられます。

3.木材

1)「木は腐る」と考えるのが常識ですが、こまめなお手入れによって長持ちさせることができます。木は生きものですので、腐るものとお考えください。
防腐処理を施すことで、腐れを抑止することができます。

2)部材には、節や欠け、入り皮、ささくれ、ひび、反りが生じるものがあります。
これらは自然現象で、木材の強度には影響ありません。

3)部材ごとに色の濃淡に個体差があります。
色の濃いもの、薄いものがあります。

4)施工後に経年変化が生じます。

含水率の減少による、やせ、ひび、および紫外線による色あせなどです。

5)変化の程度は、使用環境によって変わります。

木材に影響をおよぼすものは、温度、湿度、紫外線、酸性雨、大気汚染などがあります。耐久性についても、使用環境によって差が生じます。

6)木からは樹液が出ます。

雨などで流れ出た樹液がコンクリートと反応して壁面などを汚すことがあります。

7)1年をめどに、塗り替えが必要です

木材保護着色塗料を塗装済みのウッドデッキも、紫外線や風雨にさらされるうちに木材保護効果が劣化します。腐朽菌や害虫からウッドデッキを守るために、1 年ごとの塗り替えをお奨めします。塗り替えは、施工店に一任するか、市販の浸透性木材保護塗料を購入して、ご自分で塗り替えてください。市販の商品には以下のものがあります。いずれも素人が比較的簡単に塗装できる補修塗料です。玄々化学工業〈サドリン〉、武田薬品〈キシラデコール〉、和信化学工業〈ガードラック〉、コシイプレザービング〈ステンプルーフ〉、トーメンマテリア〈シッケンズ〉、ロックペイント〈ナフタデコール〉、オスモ〈ワンコートオンリー〉上記のメーカーに直接問い合せしても入手できません。お近くの塗装店にご相談ください。

●塗り替える前に木部を水洗いし、よく乾かしてから塗装してください。

●必ずハケで塗装してください。木材保護塗料には強力な薬品が含まれていますので、スプレー塗装はしないでください。

●木は生きて呼吸しています。ニスやペンキによる塗装は絶対避けてください。木を窒息させ、寿命を縮めてしまいます。

●塗装の際には、各塗料に記載されている注意事項を厳守してください。

4. 塗 装

門柱・塀等の塗装は経年変化により汚れ、色落ちがでることがあります。

5. 樹 脂 舗 装 ・ 洗 い 出 し 舗 装

1) 樹 脂 舗 装

ガレージ等、強摩擦・重荷重がかかる部分にはお勧めできません。はく離、破損が多く発生する事があります。一部使用できる商品もあります。

2) 洗 い 出 し 舗 装

白華 (エフロレッセンス)が発生する可能性があります。

6. エ ク ス テ リ ア 商 品

1) ア ル ミ 商 品

スチールに比べて、錆にも強く、維持費の掛からない素材ですが、表面に付着した汚れを長期間放置しておくと腐食の原因となる事があります。一般的には年 2～4 回の水洗いを行ってください。

汚れの状況	用具及び洗剤	清掃方法
汚れが軽い場合	柔らかい布と水	水でぬらした布で拭いた後、からぶきして下さい。
汚れがひどい場合	柔らかい布と中性洗剤	薄めた中性洗剤で汚れを落とし、洗剤が残らないように水洗いし、からぶきして下さい。
汚れがひどく錆が出ている場合	中性洗剤 スコッチブライト 目の細かい紙やすり 柔らかい布	中性洗剤を付けたスコッチブライト、又は目の細かい紙やすりで軽くこすり、汚れや錆を取り除きます。その後水洗いして、からぶきして下さい。

●お手入れには布やスポンジなどの柔らかいものを用い、金属性ブラシや金ベラの使用はさけてください。

●小石、砂などが付着したままこすると、アルミ表面に傷が付きます。あらかじめ取り除いてください。

2) ス テ ン レ ス 商 品

ステンレスは、耐食性に優れた金属ですが、絶対に錆びない金属ではありません。使用条件や使用環境によっては汚れることも、錆びることもあります。特に、海岸地帯や工業地帯などの環境が厳しい場所への設置は、錆びや汚濁のおそれがありますので機種選択においては十分ご検討ください。ステンレス本来の美観を維持するには日頃からのお手入れが必要です。

汚れの状況	用具及び洗剤	清掃方法
汚れが軽い場合	柔らかい布と水	水でぬらした布で拭いた後、からぶきして下さい。
手垢などの汚れの場合	スポンジ・柔らかい布 中性洗剤 ステンレス用清掃薬液 有機溶剤	スポンジ又は柔らかい布に中性洗剤を付けてふき取ってください。きれいに除去出来ない場合は、市販のステンレス用清掃薬液か有機溶剤などを使用して下さい。.
点状の錆及び黄褐色の錆の場合	スポンジ・柔らかい布 中性洗剤 炭酸カルシューム (200 メッシュ以下)や 磨き粉 (300 メッシュ以下)	スポンジ又は柔らかい布に中性洗剤を付けてふき取ってください。きれいに除去出来ない場合は、炭酸カルシュームや磨き粉などで擦り取ってください。 市販のステンレス用清掃薬液・金属磨き液でも効果があります。

●いずれの場合も、必ず十分に水拭きをして、薬品などが残らないようにしてください。放置しておくと、錆の原因になります。

●あらかじめ部分的に"ためし拭き"をして、汚れや錆の落ち具合を確認してください。

●スポンジ、ブラシなどを使用する場合は、必ずステンレスの研磨目にそって平行に、均一に力を入れてください。

●目のあらいクレンザー、紙やすり、スチールウールなどの使用はさけてください。

3) 樹 脂 商 品

樹脂は、スチールなどの金属のように錆びる心配がなく、管理の手間が少ない素材です。しかし、表面に付着した汚れを長期間そのままにしておくと、変色などの腐食の原因になることがあります。定期的なお手入れにより、樹脂商品をいつまでも美しく保つことができます。

樹脂商品の腐食を防ぐ効果的な方法は、定期的な水洗いです。年に数回の水洗いとからぶきを行うだけで、大きな効果が得られます。汚れのひどい工業地帯や海岸の近くなどでは、状況によりお手入れの回数を増やしてください。

汚れの状況	用具及び洗剤	清掃方法
汚れが軽い場合	柔らかい布と水	水でぬらした布で拭いた後、からぶきして下さい。
汚れがひどい場合	柔らかい布と中性洗剤	薄めた中性洗剤で汚れを落とし、洗剤が残らないように水洗いし、からぶきして下さい。

●お手入れには、布やスポンジなどの柔らかいものを使用してください。
●金属ブラシ、金ベラ、スチールウール、目の荒い紙やすりなどは使用しないでください。
●小石、砂などが付着したまま表面をこすると、傷が付きます。あらかじめ取り除いてください。
●アルコール、ベンジン、アセトンなどの有機溶剤や石油類などは使用しないでください。腐食、変形や割れの原因となります。

4) アクリル樹脂板 ・ ポリカーボネート板 ・ 波板

アクリル樹脂板・ポリカーボネート板・波板の美しさを保つ効果的な方法は、定期的な水洗いです。年に数回、うすめた中性洗剤と併用した水洗いを行うだけで、大きな効果が得られます。
●鳥のフンなどを取り除く際には、パネルに傷が付かないようにご注意ください。
●洗剤を使用した場合は、洗剤が残らないように十分洗い流してください。
●シンナー、ベンジン、ガラスクリーナーなどの溶剤、研磨剤、熱湯、乾いた布を使用しますと傷・破損・変形のおそれがありますので、使用しないでください。
●古くなったパネルは、早めに交換してください。強風・衝撃で破損しやすくなります。

6) 人 工 木 材 商 品

本体の清掃

1 表面に付着したシミや汚れは、頑固な汚れになる前に取り除いてください。
2 汚れが軽い場合は、水またはお湯で濡らした布で拭き、汚れやシミがひどい場合は、中性洗剤を薄めた液で汚れを落とし、洗剤が残らないようによく水洗いをして拭きとってください。
●水洗いには、布やスポンジなど柔らかいものを使用してください。金属製のブラシやスチールウールなどは使用しないでください。
●デッキ表面をデッキブラシなどで洗浄する際は、材料の長尺方向に沿ってこすってください。
●ブラシなどで洗浄する際は汚れの落ち方を見ながら、過度に強くこすらないようにしてください。
●強酸、強アルカリ、シンナーやベンジンなど有機溶剤、石油類は、変色することがありますので使用しないでください。
3 2 の方法で取れない頑固な汚れの場合は漂白剤を用いて取り除いてください。その際、漂白剤の取り扱いには十分注意してください。
●次亜塩素酸系漂白剤(カビキラー等)を所定の割合に薄めて使用してください。
●漂白剤を使用する前に製品を水洗いし、製品表面を濡らした状態にしてください。
●スポンジやブラシを用いて、材料の長尺方向に沿って軽くこすりながら汚れを落としてください。
●最後に表面に漂白剤が残らないようにしっかり水で洗い流し、流し終わったら製品表面に水が残らないように拭きとってください。

キズの補修

デッキ表面にすりキズがついた場合は、研磨紙で補修してください。60 番のサンドペーパー(研磨紙)を使って、長尺方向に沿ってこすってください。
●研磨の際は、局部的に強くこすらず、全体をぼかすように数回こするときれいに補修できます。
●デッキなどの平らな広い面を補修する場合は、研磨補助器具(研磨紙を取付ける道具)を使用していただくと楽に補修できます。※サンドペーパー、研磨補助器具は市販のものをお求めください。

7) 照 明 器 具

一般に照明器具の寿命の目安は 10 年(40,000 時間点灯)と言われ、寿命が近付くにしたがって外観だけでは判断できない器具の劣化がすすんでいます。しかし、案外そのことが見過ごされているのが現状です。そのため寿命末期には、安定器の過熱などによって、思わぬトラブルがごくまれに発生する場合があります。10 年以上経過した照明器具は、万一の経年劣化によるトラブルを考慮して、お早めの点検や取り替えをお願いします。

8) エクステリア商品のご使用について

安全に使用していただくために、日頃から異常などがないか点検してください。また、エクステリア商品を美しく保つために、定期的なお手入れをしてください。

異常にお気づきの時は…

●下記のような異常が発生した場合は、そのまま使用すると、商品の破損などによりケガをする原因となります。
異音がする。
腐食などにより機能、性能が低下している。
部品の損傷、故障がある。
動きがおかしい、動かない。
ガタツキがある。
その他
ただちに使用を中止し、ご連絡ください。

消耗品について

●電球●電池●キャスター●ローラー●戸車●オートクローザー●ガスダンパー●オイルダンパー●電装部品●バッテリー●屋根材・パネル・キャップ・ジャバラ・連結棒固定バンド・接地ストッパーなどの樹脂・ゴム部品●ワイヤー・スプリングなどの駆動部品
●使用中に異常音などの損耗現象が発生した場合は、部品の交換が必要です。そのまま使用すると、商品の破損などによりケガをする原因となります。
ただちに使用を中止し、ご連絡ください。

7. 植 木 ・ 草 花 等

植物は、他の素材とはまったく違った特徴を持っています。それは人間と同じ生き物だという事です。
成長し、その過程で調子が悪くなったり、病気になったり、最悪は枯死という状態になる事もあります。
成長を促し美観を維持していく為には、日々のお手入れが不可欠になります。
植木自身(商品)の傷み(欠陥)に起因する枯死は移植時期にもよりますが通常、植栽直後～1 ヶ月以内に発生する確率が非常に高く、その時期を越えての枯死、発育不良は適正な管理が行われていない事に起因すると考えられます。
植栽の際に、樹種・時期(特に夏場)により活着を促進する為、葉っぱを全て取り除いたり、枝を剪定する場合があります。これは、移植時における水分の蒸散抑制を目的としています。これにより一時、樹形が変わりますが、ご理解下さい。
また、害虫予防のため、薬剤散布を行いますが、使用する薬剤は長期間残留しないため、適宜追加散布をお勧めします。
植栽後は気候、環境、樹種、樹勢などにより違いはありますが、一般的な植栽直後とそれ以降の管理方法を以下にまとめましたのでご参考の上、植木の成長と美観の維持に努めて頂きます様お願いします。

植栽時期による管理 （ 目安 ）

移植した時期	常 緑 樹	落 葉 樹	低 木 ・ 草 花
11 月から2 月	1 から 2 日おきに朝か日中に、たっぷりと水をあげて下さい。夕方や夜間には出来るだけ水を上げないでください。凍結による傷み、枯死の可能性があります。		ほぼ毎日、たっぷりと水を上げてください。
3 月から 10 月	毎朝夕、たっぷり水をあげて下さい。また、この時期は害虫が付き易いので、こまめに観察して、早期予防・駆除を心掛けてください。		

管理項目	時 期	方 法 ・ 目 安
水やり（潅 水）	夏場(6 月～10 月)	毎日、朝・夕たっぷりとあげて下さい。
	冬場(11 月～3 月)	1～2日おきに朝にたっぷりとあげて下さい。
剪 定		成長時期を外して行ってください。専門家にご依頼をお勧めします。
除 草	随 時	早め早めの除草を心がけてください。
寒 肥（追 肥）	1 月～2 月	葉張り（樹木全体の直径）より少し外側を数箇所溝掘します。その中に油粕等を適量入れ埋め戻します。芝生などの地被植物や草花などは、市販の固形肥料などを使用方法に従い、ご使用下さい。
病害虫駆除（薬剤散布）	随時（発芽時は避ける）	害虫・病気の種類を特定し、（農協や園芸店に葉や枝、害虫を持っていくと教えてくれます）適正な薬剤を噴霧器などを使用して予防・駆除に心がけてください。

保 証 に 関 し て

1. 工事完了後に以下のスケジュールで施工箇所全般及び植木の点検に伺います。

   点検に際しては事前にご連絡し、日程の調整をいたしますが、建築と異なる日程になることがございます。点検時はお立会いの上、ご確認ください。

   迅速な対応をするため、点検と同時に補修、交換を行なう事が出来る場合がございます。

   最後のページにチェックシートを備えていますので、点検日程の調整のご連絡後にチェックシートにご記入の上、下記あてまでご送付下さいます様お願いいたします。

   FAX 072－350－9527 メール info@gardeners.jp

   また、点検時までに急を要した問題が発生した場合もチェックシートにご記入の上、ご送付ください。

   1) 植栽を伴わない一般工事のお客様
   - 工事完了後、1～2か月の間

   2) 植栽を伴う一般工事のお客様

分 類	施工時期	点検スケジュール
常緑樹のみの植栽を含む	全期間	工事完了後、1～2か月の間
落葉樹のみの植栽を含む	萌芽期	工事完了後、1～2か月の間
	落葉期	新芽が発芽する時期。個別にお知らせいたします
常・落葉樹の植栽を含む	萌芽期	工事完了後、1～2か月の間

2. 植栽樹木に関する保証

   1) 上記点検時に問題（回復の見込がない傷み、枯死）が発生している場合、植え替えを無償にて保証いたします。

      ただし、以下の場合保証の対象とならないことがあります。
      - 明らかな管理不足

        例 ： 水をあげていない。害虫などの放置。
      - 台風、落雷、水没等自然災害による倒木、破損等
      - いたずらなどによる倒木、破損等

   2) 上記点検時に問題がなく、正常な生育・活着が確認された場合、それ以降の保証は有償となります。

   3) 保証期間終了後の年間管理 ・ 一時管理等も承りますのでお気軽にお問合わせください。

3. その他施工箇所に関する保証

   施工上の欠陥に起因するに事象に関しては、ご説明、ご協議の上、適正な処置を行います。

4. エクステリアメーカー商品の保証について

保証内容	取扱説明書・表示ラベルまたはその他の注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に発生した不具合については、下記に例示する免責事項を除き、無料修理いたします。
保証期間	当該商品の施工完了日（お引き渡し日）から起算して 2 年間。（電装部品および木製部品については1年間）ただし、施工を伴わない商品については、ご購入された日から起

	算して 1 年間。なお、起算日については所有者で立証していただきます。
品質保証の免責事項	保証期間内でも、次の様な場合には有料修理となります。 ①取付説明書や表示ラベル、カタログなどに記載された施工・取り付け方法から逸脱したことに起因する不具合（例えば、腐食促進のおそれがある海砂・急結材等を使用したモルタルによる腐食、基礎寸法や取り付け寸法違いなどによる性能低下など）。 ②取扱説明書や表示ラベル、カタログなどに記載された使用方法からの逸脱および適切な維持管理を行わなかったことなどに起因する不具合（例えば、中性洗剤以外のクリーニング剤を使用したことによる変色や腐食、雪下ろしや操作上の注意などの注意シール内容の不励行による破損など）。 ③表示された商品の性能を超えた性能を必要とする地域や場所に取付けられた場合の不具合（例えば、積雪強度、耐風圧強度、寒冷地での作動性や凍結に起因する不具合など）。 ④建築躯体や、外構工事、土間工事、電気工事などの商品以外に起因する不具合。 ⑤商品または部品の経年変化（使用に伴う消耗・摩耗など。木製品の反り、ひび割れ、節抜け、ささくれ、変色、ネジ、ボルトの緩みや釘の浮きなど）や経年劣化（樹脂部分の変質・変色など）またはこれらに伴う不具合、および電池・電球などの消耗品の損傷や故障。 ⑥自然現象や住環境に起因する結露、樹液の染み出しなどに起因する不具合（例えば、結露による凍結、かび、さび発生、樹液によるコンクリート壁面などの汚れなど）。 ⑦環境が特に悪い地域または場所に取付けられたことに起因する腐食および不具合（例えば、海岸地帯での塩害や大気中の砂塵・煤煙・金属粉・亜硫酸ガス・アンモニア・車の排気ガスなどの付着によって起きる腐食や塗装剥離、異常な高温・低温・多湿による不具合など）。 ⑧天災その他の不可抗力（例えば、暴風、豪雨、洪水、高潮、地震、地盤沈下、落雷、火災など）により商品の性能を超える事態が発生した場合の不具合。 ⑨実用化されている技術では予測不可能な現象またはこれが原因で生じた不具合。 ⑩犬、猫、鳥、ねずみ、虫などの小動物の害またはつるや根などの植物の害による不具合。 ⑪使用者や第三者による不当な修理や改造（必要部品の取外し含む）に起因する不具合。 ⑫本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合、または使用目的と異なる使用方法による場合の不具合。 ⑬犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合。

※保証期間経過後の修理・交換などは有料といたします。

該当する箇所にご記入の上FAX072－350-9527 又は info@gardeners.jp までご送付ください

お名前		平成　年　月　日
ご住所		
連絡先	自宅TEL：	携帯：
	メールアドレス　：　@	
連絡方法	○で囲んでください　自宅TEL　携帯　メール	
連絡時間帯	午前　午後　時間指定　月　日　時ころ	

分類	わかる範囲で詳しい場所をご記入ください	症状	状　態　✔マークを入れて下さい				
			微　小	小さい	中程度	大きい	ひどい
門　柱		キズ					
		割れ					
		ヒビ					
		その他					
塀 ブロック		キズ					
		割れ					
		ヒビ					
		その他					
アプローチ 土　間		欠け					
		割れ					
		ヒビ					
		その他					
ガレージ 土　間		欠け					
		割れ					
		ヒビ					
		その他					
アルミ 商　品		ゆるみ					
		破損					
		その他					
木　製 商　品		反り					
		歪み					
		その他					
植　木		樹勢					
		害虫					
その他お気づきの点							